

# 小さな拠点づくりプロジェクト（伊手）

## 【小さな拠点】

狙い

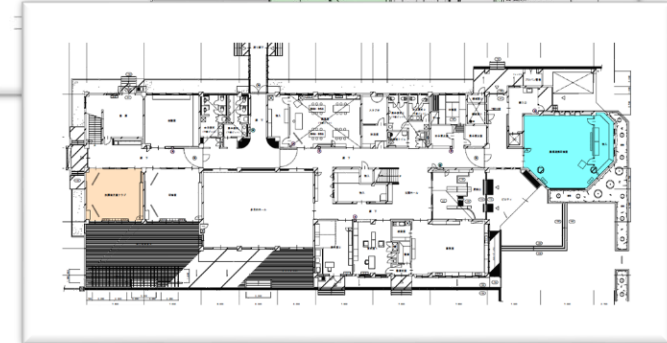
地域住民の合意形成（地域デザイン等）のもと、住民が主体となって事業者、市と連携・役割分担した、日常生活に必要な機能・サービスの集約による地域資源を活かした持続可能な生活圏の維持

## 進捗状況

小さな拠点づくりプロジェクト（伊手）は、令和8年4月の供用開始に向け、市では現在、実施設計の最終段階に入っております。また、このプロジェクトの財源として、国の交付金を活用予定ですが、制度が変更（デジタル田園都市国家構想交付金→新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）に変更）になったことから、新しい制度に対応した調整を行っているところです。

突然の制度変更を受け、1/21に、市長が内閣府を訪問し、小さな拠点づくりプロジェクトの意義を訴えてきました。

※施設改修のイメージ



制度変更により、多様な主体の参画によるPDCAサイクル構築が求められることに

このプロジェクトは、旧伊手小学校を、持続可能な地域づくりのため、賑わいと生業を生み出す拠点として、整備するものです。

1Fは、旧小学校の趣を残したまま、地区センター・放課後児童クラブとして活用。

2Fは、「宿泊機能」、「地域の加工場」、「オンライン学習室」等、地域内外の方々が集い、賑わいを生み出す施設として活用します。

また、「農福連携」の拠点としても活用が期待されています。